

ナノマテリアル問題に対応した アイライナーで世界初の開発に成功

ケミコスクリエイションズ

(本社＝東京)は、リキッドアイライナーOEMのパイオニアとして国内のみならず、広く海外でも実績を持っている。



服部社長

同社は、カーボンブラックを使用した処方を中心にリキッドアイライナーを製造しているが、欧

米諸国では現在、「ナノ化原料」に対し既に自主規制を実施している企業も増えており、ナノ化原料を含有するカーボンブラックの代替品が求められている。国内において

も、欧米諸国との足並み

を揃えるために、今後は使用規制がかかる可能性があることも考えられている。

そこで、同社では2012年6月にパリで開催された展示会で、カーボンブラックに代替する新たな処方のリキッドアイライナーを世界で初めて開発、紹介した。

今回披露したのは、安

全性の高い「黒酸化鉄」

を使用した100%ナノ化原料フリーの処方です。同社の服部勝高社長が30年にわたって研究・開発を続けた「集大成」と自負する完成度となった。

黒酸化鉄は、粉体硬度が高く比重も大きいため、液中で粉体が沈下してしまい、液がペン先から出ない、なめらかな線が描けないなど、製品化が難しいとされてきた。また、安定性にも課題があり、変色などの問題もあったという。そこを、同社では長年の研究によ

り製品化に成功させた。にじみのない艶のある黒色で、耐水性を持ちながら、温水と化粧石けんで簡単に洗い落とせるようにした。海外向けに、軟水だけでなく硬水にも対応させている。色素を使用していないため、皮膚に色が残る「沈着」も起きないという。

「数十年にわたり、リキッドアイライナーと向き合ってきた長年の成果が出た。この開発力をアピールして、メイドインジャパンブランドを復活したい」(服部社長)

同製品は今年6月開催の「CITE Japan」にも出展予定で、処方調整を加えながら世界各国への拡販を目指す。